



安心を未来につなぐ

まちづくり

日立市長 小川 春樹

令和6年の新春を迎え、

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

秋山会頭をはじめ、会員の皆様には、日頃から、本市のまちづくりに温かいご支援とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

まずもって、元日に発生した能登半島地震により亡くなられた方々に哀悼の意を表しますとともに、被災された方々に心からお見舞いを申し上げます。被災地の皆様が一日も早く日常を取り戻すことができ、まとう心からお祈り申し上げます。

さて、昨年を振り返り、またしても激甚化・頻発化する自然災害の脅威が色濃く刻

まれた年でありました。台風13号に伴う豪雨の影響により、本市においては土砂崩れや道路損傷、河川の氾濫、そして400件を超える市内住居の床上・床下浸水、さらには市内中小企業や本庁舎をはじめ公共施設への被災等これまで経験のない大きな被害が発生し、現在も各所に深い爪痕を残しております。

この間、本市では、被災された市の皆様への生活の再建や社会インフラの復旧に向けて各種対策に全力を挙げると同時に、事業者の皆様への支援に努め、今年か

らは茨城県と連携し、被害を受けた施設や設備等の復旧費用に対する補助制度をスタートさせたところであり、

また、不安定さを増す国際情勢を背景として地域経済の先行き不透明な状況が続いた年でありましたが、本市では、エネルギー価格や物価高騰の影響を受ける中小企業への応援金等の給付を進め、厳しい経営環境にある事業者の皆様への負担軽減に努力をしてまいりました。

さらに今年度からは、人材の確保や定着を促進するため、市内の中小企業に就職した高校等の新規卒業者に対する祝金30万円の支給や、市内在住の若年層従業員へ住宅手当を支給する中小企業への補助金の交付を

開始したところであり、引き続き、デジタル化や脱炭素の実現に向けた対応など、様々な支援策に取り組んでいるところでもあります。

こうした一方で、昨年、新型コロナウイルスの5類移行という感染症対策の大きな転換点を迎え、まち全体にぎわいが戻りつつあることを感じることでできた一年でもありました。

このような中、本市を代表する一大イベントであります「さくらまつり」や「産業祭」が本格開催されましたことに加え、駅前地区の再活性化やにぎわい創出につながる日立駅前大型商業施設「ヒタチエ」のリニューアルオープンをはじめとする多くの重要事業を押し進めることができましたことは、誠に大きな喜びであり

ます。

本年は、まちづくりの道標となる総合計画の前期基本計画が折り返しを迎えます。引き続き、豪雨被害を踏まえた対策を確実に進めながら、安全・安心のまちづくりをはじめ、若者・女性の定住化、活躍支援など、取組中の事業を更に推進してまいります。そして「全ては市民の皆様のために」を市政の基本として、安心と活力に満ち、誰もが未来に夢や希望を抱けるまちづくりを進めてまいりますので、今後ともご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりまして、ご家族共々、実り多き一年となりますことを心からお祈り申し上げます。



新年明けまして

おめでとうございませす。



災害を乗り越えて

日立市十王商工会 会長 和田 芳信

謹んでお見舞い申し上げます。

このような中、商工会も日立商工会議所の皆様とともに、

水害においては被害把握に努め、災害融資、県の補助金等の活用を図り、

事業所様の事業再建を支援いたしました。また、物価

高、売上減少等に対しても各種補助金等の活用によ

り、売上増、経営の安定を図りました。

商工会は、身近な相談窓口として、資金繰りなどの

各種経営相談を行うとともに、国や県、市の講じた支

援策の普及・活用、また、新しい取り組みを行う事業

者様に対しては、伴走支援

により、ビジネスモデルの後押しを行うなどきめ細か

い支援を行っております。商工業者、事業所は街の

顔です。地域に活気をもたらすためにも、物価高など

の新しい経営環境下で、挑戦し、この難局を乗り越え

た先で、力強い成長を実感できるよう、本年も会員事

業所様に寄り添った支援を行ってまいります。

つきましては今後とも日立商工会議所の皆様との連

携を密にしながら、地域の皆様への効果的な支援を行

っていききたいと思っております。

最後になりましたが、皆

様にとって本年が明るく希望に満ちた一年となります

ようご祈念いたしました、新年のご挨拶とさせていただきます。

日立商工会議所会員事業所の皆様におかれましても健やかに新春をお迎えのことと思ひます。

平素より日立商工会議所の皆様には、当商工会事業

運営にあたり、ご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し

上げます。新春にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

昨年を振り返りますと、2年目に入ったウクライナ

での戦争、そして新たにイ

スラエルでのテロとガザ地区への侵攻は、私たちの生活、私たちの事業に、大きな影響を与えております。

ガソリン価格や原材料費などの上昇は、これまでのデ

フレマインドが残る経営環境を大きく変えることとな

りました。さらに当地、日立は、9月にこれまでにない

豪雨と水害に見舞われ、多くの市民、多くの事業所

の皆様が被災されました。この場をお借りしまして、



2024 副会頭年頭所感

副会頭 郡司 洋子



会員の皆さま

まにおかれましては、健やかな新年をお

迎えることと心よりお慶び申しあげます。平素より当所事業運営につきましては、ご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

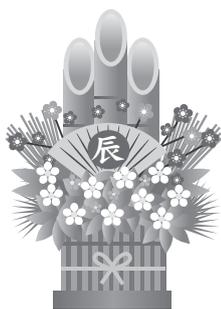
さて、昨年は新型コロナウイルスの5類移行により、制約のない元の生活に戻ることができ、さくらまつりや産業祭などのイベントは多くの人出が見られ、ヒタチエのオープンで日立駅前にも賑わいが戻ってきました。反面、長引く戦争や円高の影響からか物価の高騰は予想以上で、生活への影響は少なからずあったかと思われまます。そのような中、メジャーリーグで大活躍する大谷選手はホームラン王になり、史上最高額での移籍は記憶に新しく、日本人として誇らしく感じました。

私達、中小企業を取り巻く

環境は、現在も先行きが不透明な状況で、建設・運送業の2024年問題と言われる働き方改革による人手不足への対応や、DXやAIの活用による作業の効率化など求められることは多いと思えます。

今年の日本経済は、国内消費の上向きが予想されており、このことから会員皆様のお知恵やご支援をいただきながら、人と人をつなぐ橋渡し役となれるよう努めてまいりたいと思えます。

皆様にとつて、実り多い1年でありませうご祈念申しあげ、新年のご挨拶とさせていただきます。本年もよろしくお願ひ申しあげます。



副会頭 小泉 裕樹



会員の皆様

におかれましては、健やかな新年をお迎

えのことと心よりお慶び申しあげます。また、平素から日立商工会議所事業にご支援ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年はコロナウイルス感染症の分類が5類に緩和され、社会活動も少しずつ正常化されてまいりましたが、原材料の上昇や賃上げへの対応など、私どもを取り巻く経営環境は、依然として厳しい状況が続いています。

当市においては、各業界の落ち込みが見られたところでありましたが、新たな力となる企業の参入や日立駅前大型商業施設「ヒタチエ」がオープンするなど、地域産業の発展に期待を寄せているところでもあります。

一方、デジタル化が進み、電子帳簿やインボイス制度の

導入など、地域社会全体の変革が加速されています。新たなサービスや衛生対策、地域資源や特産品を活かした飲食体験の提供など、様々な取り組みをおして魅力的な食文化を発信していくなど、多くの企業が創意工夫を凝らしながら新たなビジネスモデルを構築していくことが必要となつてきます。

また、働き手不足に直面している業界においては、人材育成や労働環境改善にも注力し、消費者の方々に対して安心・安全な環境を提供していかなくてはなりません。

日立商工会議所では、行政を始めとする関係機関と連携し、各種支援プログラムの提供や情報交流の場など、地域事業者の成長を支援しながら、街の賑わい、活気を取り戻す活動を進めて参ります。

結びに、会員の皆様にとりまして、今年1年がより良き年でありませうに、ご祈念申しあげ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

副会頭 川崎健輔



新年明けましておめでとうございます。令和6年の

年頭にあたりまして、日立商工会議所の皆様にご挨拶申し上げます。

昨年をかえりみますと、新型コロナウイルス感染症の法律上の位置づけが、5類感染症へ移行となり一つの節目を迎えました。3年ぶりのさくらまつりは大いに賑わい過去最高の人出となり、さくらロードレースは桜吹雪のなか多くのランナーが走り抜けたのが印象的でした。青年部主催の常陸ノ国グルメフェスでは、雨の中ではありませんが、市外からのお客様にも多くご参加いただき、市内外のグルメを皆さん笑顔で食事しておられました。他にも市内各所でお祭りやイベントが再開され、かつての賑

わいが戻りつつあり大変嬉しく思っています。

一方で、近年では自然災害も多発し昨年9月は日立市の観測史上最大の記録となった、台風13号による大雨で、土砂崩れや住宅浸水などの被害が相次ぎました。

海外情勢におきましては、ロシアによるウクライナ侵攻の影響により、円安が進み国内においても原材料価格の上昇、電気代やガス代などエネルギー価格の上昇、包装資材の上昇、物流コストの上昇と、企業と家計を圧迫し多大な影響を及ぼしています。弊社のタクシー

事業におきましては、もはや運賃改定をせざるを得ない状況となり昨年10月より運賃改定を実施しました。消費税の引き上げによる値上げを除けば16年ぶりの改定となります。これまで以上に、お客様の安全を第一に、安心・快適なサービスを提供し整えていく所存です。周囲の人に思いやりの心

をもって接する。地域の為に考え行動する。まだまだ不安定な社会情勢が続いておりますが、そんな思いやりの心と支え合う行動が私たちの暮らしを豊かにできると思っています。人と人との繋がりを大切にし、地域経済の活性化に貢献し、寄与出来ようよう努めて参りたいと思えます。

結びに、本年が会員の皆様にとりまして、幸多い年となるとともに、事業の益々の発展を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

副会頭 前島康

健やかな一年の始まりに感謝をこめてお慶び申し上げます。



副会頭 前島康

副会頭の重責を担い一年が経ち気づかされることは、今の姿があるのは、国、県、市、関係機関のご支援はも

とより、会議所会員の皆様、並びに事務局職員の多大なるご尽力のおかげと改めて感じます。その感謝の思いを胸に本年も地域経済の振興に邁進したいと気を引き締めております。

現在、わが国は、本格的な人口減少社会の到来、デジタル化の進展、不安定な世界情勢による国際社会の変容など、急激な環境変化に直面しており、特に日立市におきましては、人口減少の率が著しく毎年2、700〜2、800名の人口が減少(内6〜7割が自然減、3〜4割が転出減)すると同時に若者や子供たちの数も減り、令和6年の二十歳の祝い(旧成人式)の対象者約2、000名であるのに対し20年後の対象者は800名であるとの試算が出ています。同時に学校の数も半減するといわれています。

このようにかつてない速さで変化していく中で、永續発展を遂げるには、現状

を理解し多くの課題を克服しなければならぬ状況に置かれています。

それらの大きな環境変化に対応するためには、商品の開発・絞り込み、商圏の拡大、チェーン化、コングロマーチャント化、人材確保が難しい観点からDXの推進、ITの活用などが鍵になると思われま。このような

逆境の時こそ会議所窓口と問題・課題解決に向けた対話を行い進むべき道を見極め、明るい未来を信じて、一丸となつて取り組むことが、問題克服の第一歩だと思えます。

本年が、明日への希望にあふれ、チャレンジ精神を奮い立たせ、行動力を発揮する1年となりますと共に、皆様方のご活躍とご健勝を、心から祈念申しあげ、会員の皆様方のご協力をお願い申し上げます。





謹んで新春の祝詞を申しあげます。

日頃より当女性会事業に對しまして、格別なご配慮とご協力を賜り厚く御礼申しあげます。

昨年を振り返りますと、世界情勢では紛争が絶えず、長期化する中でエネルギーや食料等の価格高騰など、企業と



謹んで新春のお慶びを申しあげます。

日頃より、青年部活動に對しまして、ご理解ご支援を賜り厚くお礼申しあげます。

さて、今年度は、私どもにとりまして創立40周年という節目の年度であります。お

日立商工会議所女性会

会長 皆川摩澄



しても、一個人としても大変厳しい一年であったと感じております。

当女性会事業においては、新型コロナウイルス感染症の5類への移行に伴い計画した事業活動をスムーズに行うことができた年でした。

鹿島神宮ご祈禱、メロン狩り体験や管理栄養士の先生の

日立商工会議所青年部

会長 赤津浩史



げさまで、昨年12月には多くの関係者を招いて記念事業を挙行し、40周年記念宣言を力強く発表し、更なる飛躍を誓うことができました。これまでのご支援にあらためて感謝申しあげます。

また、来る3月には、日立

講話など、これまでに皆様から傾聴、経験したことのないものを企画・実施し、大いに盛り上がる内容となりました。

また久しぶりに東京への観劇会も実現し、皆様と楽しく親睦を深めることが出来ましたことを大変嬉しく思っています。

本年におきましても、地域

の社会福祉に貢献することを

念頭に、当女性会として明る

さを失わず、互いを尊重し協

力できる組織として活動をし

て参りたいと考えております

そしてこの歴史ある組織を次

の世代へ承継できれば、と

思っております。

本年もご協力とご支援・ご

指導を賜りますよう宜しくお願い

申し上げます。

結びに皆様にとつて実りの

多い一年となりますようお祈

り申しあげ新年の御挨拶とさ

せていただきます。

まして実り多い年となります

ようご祈念申しあげますとと

もに、引き続きのご指導ご鞭

撻をお願いいたしまして新年

のご挨拶とさせていただきます

です。本年もよろしくお願い

いたします。



お屠蘇

元日の朝に飲む「お屠蘇」とは、邪気を払い長生きできるといわれる薬酒。「屠蘇散」「屠蘇延命散」とも呼ばれるものを入れた酒で、子供が飲めるよう味醂(みりん)が使われることもあります。

幼い子から年長者まで順に飲めば、一年中そろって病気をしなないとされてきました。中村汀女(ていじよ)の句「次の子も屠蘇を綺麗(きれい)に干す」とよは、いまも多くの家庭で見られる情景でしょう。

中国から来た屠蘇の風習は、平安時代の宮中で新年の儀式に採用され、江戸時代には医者が歳暮代わりに屠蘇散を患者の家に贈ったところから、民間に普及しました。山椒(さんしょう)、肉桂(にっけい)、防风(ほうふう)、大黃(だいう)などを調合し三角形に縫った紅絹(もみ)の袋に入れた「屠蘇袋」が用いられています。

屠蘇の語源については、蘇という名の悪鬼を屠(ほ)ぶる意とする説、西域(せい)いき地方の薬草茶蘇(そ)からきたとする説などがありますが、定かではありません。

そうした由来や薬効はともかくとして、元日に、程よく酔って「屠蘇機嫌」にならないと正月の気分がしないという人も少なくはないようです。

歳時記